

てんがー新聞

11.6.No168
発行所 市岡田
0883-88-5292

「さめやか五月」と言われるが、今年のさめは、気温の変化が激しく、さめやかな気分にはれずに過ごしてしまつたようです。それども、祖谷の山々は確実に緑が深くはつきり、いろんな花も次々と咲いています。まさに「百花繚乱」、華しいもんです。そして、そこに住んでいる人も、様々な考え、思いを心にもつて日々生活しています。まさに「十人十色」でもあります。



十人

それと、東祖谷の住人、一人一人がはなから公職(議員)という立場で活躍している人の言葉です。さあ、さあ無視する話にはいきません。住民の活動をつぶさる一言で片づけてしまつた議員さん、常日頃何を見、何を感じて行動しているのをごさうか。自分に、あれをしこくれ、とかこれをやるといふ、とお願いに答

十色

だから、お互いの行動にあれこれ言つても仕方がなく、自分の考えを言ひましかありません。が、私達、この会の会や活動、祖谷村が果たした、様々な場面で発言したり、共にこの東祖谷の為に小さな事を積み重ねていく事に対して、あのころのやつこいことば、こじやきと片づけられると黙つておしまひません。今ある人たちのやつこいことば、ごさうか。先月五月号の記事の「コテージ管理人首切りの顛末について」の発言がどうですか。



十華也 ④つの花いろ よこねさる 〃 秋野



とよき住民の顔は見えても、自分たちで出来る事は、自分達で努力してやろう人の顔は見えないので、さう。このころ、さういふことばは、いづかか、顔が違つたように、それだけの考え、行動が違つたのがあり前。それらを、まとめ、地域の発展に力を加す方向を炸り出すのが、おかげで、はあ、いいます。

小さな村で、華々しく暮らして、私たちの事が理解出来なくとも、足をなつぽる事だけはやめて下さい。震災(三月)から以降、ゲゲゲが多くなりました。さめやかなる、おかげで、はあ、いいます。さめやかなる、おかげで、はあ、いいます。

読者の皆さんに、こころをこころしくお届け出来るのが残念です。

せめて、はあ、いいます。祖谷の良さを感じて下さい。